

昭和48年7月1日発行

東頸城郡松代町公民館

電 話 松 代 301 番

印刷 极代印刷所

外

平

号

奖 谷 昭

館長

中学校統合問 特別委員会開 題 か

通りの申し合せされました。合問題特別委員会が開かれ次ぎの 育長の出席を求めて町議会中学統会議室において秋山町長、富沢教会議室において秋山町長、富沢教去る五月三十一日役場庁舎第二

現在の六中学を統合 して

められた意見(大字松代地内)位置は前議会特別委員会でき位置は前議会特別委員会でき昭和五十年度昭和五十年度 を尊重する。

3. て事業を推進するため名目だ現在の六中学は今のままにしる目統合、昭和五十一年度 け

4. 校舎建築、

5. 見館建せ、 使を新校舎に収享, でを新校舎に収享, でを新校舎に収享, は、昭和五十三年度

学校区域毎に説明懇談会を開で七月から九月にかけて各中目的も達成できないことなの解と協力を得なければ所期のり、各地域の住民各位から理り、 6.

4

中学統合に 関 す

する予定。

参考事 項

0

るのか。 なぜ中学校を統合しようとす

(3) 生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年々減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少し、松代町(1)生徒数が年を減少した。

統合実施の方針なってきた。

0

(3) 冬季間寄宿舎に収容する生徒を図ると共に疎外感を持たせることと相待って統合を推進ることと相待って統合を推進ることと相待って統合を推進がある。 (3) 冬季間寄宿舎に収容する生徒を余り上廻舎に収容する生徒を余り上廻ったいように施設を横の野転する生徒を発したい。 (2) 国 育施設 ように、できるだけ近続合校は近代教育に遅 P 々備 の交通施策 を統実させ 个件の好転すべや町の総合くさせたい。 的な

る。 ないように を図ると共

❸ 和四十八年度中学生徒数、 学級数、 教員数

五三三	ーセニ	101	五九	四九	OII	計
七		三		六	=	桐山ク
	三七	二八	三九	(補)	Ξ	奴奈川ヶ
一〇九	<u> </u>	四五	三四) 七	Ξ	山平 //
七五五	六	三四四	<u></u>	七	Ξ	孟地
=	五	九	六	六	_	清水・
三 〇 人	六二	八三	六三	五五.	(特) 七	松代中学校
計	3	2	1 生.	教員数	学 級 数	学 校 名

中学在籍生徒数の推移と今後の推定 (昭三九~五四)

三六二	四四九	五七八	六八六	1 0 三 五	一〇八六 一〇二五	計
七	九	<u></u>	<u></u>			桐山
八 六	10=	1 1 1	五五五	<u> </u>	二四八	奴奈川?
六四	八二	一四四	八〇	五五七	二六三	山平
二九	五〇	八三	100	二三七	二二八	孟地
<u>一</u> 死.	二六	Ξ	六一	六二	六五	清水・ク
六二	一七九	三二八	三七	三五八	三八二	松代中学校
五四四	五〇	四七	五.	四()	昭三九年	学校名

6 統合校の生徒数、学級数

計	特殊	三学年	二学年	一 学 年	学年
1 =		四	四四	=	学級数
四一七	$\bigcirc \bigcirc$	一四九	四一	1二七	生徒数
(昭五一・四・一円)	ņ	事務職員	養護教		備
現鉄は)	- - -	 	_	=	考

(3) どんな効果があるか。
適正規模の学校に統合すると

(1)専門教科の教師から担当して(1)専門教科の教師の指導や友人の指理を受けて教育効果を高めるとができる。十二学級規模の指導は無理である。

(3)購入して学習させられる。ってくる高価な教育機器でも教育の近代化に伴い必要にな

研修の機会に恵まれやすい。一教師が校務分担ができるので

昭和四十 年全国学力調査規模別成績 (本県中学第三学年)

三四 ~ 1	五 ~	九 {	= ~	- ~	学	
上上	=======================================	四四	八	学級	級	
四六・	四二・六	四〇・八	三九・	二六・二点	围	
四.	六	八	八	点	韶	
四八・〇	三七・	三六	=======================================	五.	算	
Ċ	六	四	四四	六点	数	

お経費等を経済的に運用できめ経費等を経済的に運用できず、施設々備費、その他消費を経済的に運用できます。

九日で期限切れ

年賀はがき賞品 引換期限せまる の

出下さい。 号をたしかめて、 号をたしかめて、早く郵便局へ申七月十九日までです。もう一度番お年玉はがき当選賞品引替えは えをしないのが四・アゼっかく当選してい ・五割もありまいるのに引替

す。 さい。 品がすぐに間に合わないことがあ十九日まぎわになりますと、賞 りますのでお早目に引替えてくだ

たばこは 町内で買いましょ 代金の一部が町の収入となり 皆さんのお役にたちます。 一箱ても<u>よさ</u>て買われますと よその市や町の収入にな つてしまいます。

(松代郵便局)